

四六 舟方他國に被雇候儀  
停止御定

掟

加州浦々舟方共やとひととして、他國に罷越儀、向後かたく令停止畢。若かくしても出もの有之者、其一類則可遂成敗者也。

慶長七年十二月三日

御判

四七 越中川西三郡百姓借米  
之儀高札

高札

金澤町

越中河西三郡在々所々百姓等當年借米之事、本米之儀者可返辨、利米之事者不及取沙汰候。縱此已前利息分雖相立候、かり申手前に可相返。若於相背御法度之旨輩者、可爲曲言旨被仰出者也。仍如件。

慶長十年十月廿八日

篠原出羽守  
横山大膳職  
奥村伊豫守

四八 上方商人殺害者告訴  
之儀高札

高札

右去十三日之夜、上方より來商人せつがいせしめ、彼しがいほりの中へなげ捨候。前代未聞之仕合候。若存知候もの有之者早々申而可出、縦同類たりとも、かへり忠たるの間、此金子二拾枚可遣之者也。

慶長九年九月廿三日

御判

四九 他國金山へ罷越候儀  
停止高札

高札

一、當國中町人・百姓、其外いか様之ものによらず、他國之金山に相越事堅令停止畢。若背法度之旨於相越輩者、聞出次第其一類盡可成敗者也。

慶長七年十二月七日

御判

五〇 御鷹場殺生停止之儀御定

法度

當地小立野・泉野・袋島、右之三品御鷹場に付而、下々鷹野御停止之旨かたく御誂候。若みだりの族於有之者、可爲曲言旨被仰出者也。

慶長十一年七月十三日

五一 金銀吹分停止之儀御定

法度

銀子はいふき并筋金吹分之事、諸國就御法度、越中・加賀・能登三ヶ國之儀堅可申付旨、從駿河被仰出候條、於自今以後堅被成御停止畢。若みだりの輩於有之者、則可遂成敗旨被仰出候。仍如件。

慶長十四年六月廿六日

篠原出羽守  
奥村伊豫守  
横山山城守

五二 夜盜告訴之儀御觸

一、當地才川口實成寺に、去月廿一日之夜盜入候て坊主をころし候。彼盜人之脇指かけ置候。見しりたるもの於有之者、ひそかに奉行所へ來可申上事。

付、此中當地所々に盜人入候。存知之もの於有之者、是又ひそかに可申上事。

一、去月廿日之夜於田井口やみ打之もの、其外去年已來當地にて辻ぎり仕候もの、存知之仕合就有之者可申上事。

右條々存知之もの有之者申て可出。御褒美として此金子五枚則可被下候。縦同類たりといふとも、かへりちうたる間、其科不及改者也。

慶長十一年九月七日

篠原出羽守  
横山大膳職  
奥村河内守

五三 鳥殺生之儀に付御定

禁制

金澤町